

<p>科 目 名</p> <p>経営学 Business Administration</p>	<p>学年</p> <p>1</p>	<p>期別・授業形態・単位数</p> <p>後期・講義・2単位</p>	<p>教 員 名 吳青姫</p> <p>研 究 室</p> <p>内線電話</p> <p>e-mail:</p>
<p>授業 (30 時間) + 自己学習 (60 時間) = 標準 90 時間の学習時間</p>			
<p>科目到達レベル: <input type="checkbox"/>1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/>2. 理解 <input type="checkbox"/>3. 適用 <input checked="" type="checkbox"/>4. 分析 <input type="checkbox"/>5. 評価 <input type="checkbox"/>6. 創造</p>			
<p><b>【授業目的】</b> 経営学とは、経済活動の中心にある企業を対象とする学問である。したがって、組織論や戦略論のほかに、経済学、会計学、法学、統計学、経営工学等、他の多くの学問領域と関連がある。授業ではまず、企業とは何か、経営学とは何かという基本的な問いからスタートし、組織と戦略の基礎理論の理解を通して、企業の国際化や研究開発活動への取り組みなどについて考える。</p> <p><b>【Course Objectives】</b> The purpose of studying business administration is to consider the activities of a company in the market by understanding the basic theories of organization and of strategy.</p>			
<p><b>【到達目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人行動や小集団固有の現象を見る組織行動論が理解できる。</li> <li>2. 社会集団としての組織の構造やデザインを見る組織理論が理解できる。</li> <li>3. 戦略論の基礎が理解できる。</li> </ol>			
<p><b>【学習・教育到達目標】</b> (E) 豊かな人間性、国際性、協調性及び英語によるコミュニケーション能力を身につける。 (F) 技術が持つ地球的、社会的影響の重要性と技術者の倫理的責任を理解し、説明することができる。</p>			
<p><b>【キーワード】</b> モチベーション、リーダーシップ、組織構造、組織デザイン、戦略 motivation, leadership, organization structure, organization design, strategy</p>	<p><b>【授業時間】</b> 2 時間 (90 分) × 15 週 = 30 時間 (22.5 時間)</p>		
<p><b>【授業方法】</b> 組織に関する問題や企業の戦略を理解するために必要な組織行動論、組織理論、戦略論の基礎を学習する。授業では、新聞記事やDVDなども使用し、身近な事例を取り上げながら説明する。一方的な講義ではなく、対話式授業として進行したいので、活発な発言・質問・議論への参加を期待する。また課題報告も義務付ける。</p>	<p><b>【学習方法】</b> 事前にテキストの関連部分を読んでおくこと。経営の現実的な理解を深めるために、経済関連の新聞記事を読む習慣を身につけることをお勧めする。また、応用力を養うため、毎回、教科書や配布資料に関連する課題に関して 4 時間程度の自己学習を義務付け、次回の授業時に報告してもらう。</p>		
<p><b>【履修上の注意】</b> 本科目は授業での学習と授業外での自己学習で成り立つものである。</p>	<p><b>【科目の位置付け】</b> 1. 先行して履修すべき科目</p>		
<p><b>【定期試験の実施方法】</b> 試験は後期期末に 1 回実施する。 試験時間は 50 分 (持ち込みは不可)。</p>	<p>2. 後で履修する関連科目</p>		
<p><b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 成績は、年 1 回の定期試験 (60%)、レポートの提出と発表、毎回の授業毎に課す自己学習としての課題等の内容 (40%) を総合して評価する。到達目標に基づき、組織行動論、組織構造論、戦略論の概要など、各項目の理解についての到達度を評価基準とする。</p>	<p>3. 同時に履修する関連科目</p>		

**【教科書・教材等】**

教科書： 榑原清則『経営学入門[上][下]』日経文庫 853, 2002 年

教材： 必要に応じて資料を配布する。

**【参考書・参照 URL 等】**

参考書： 青島矢一・加藤俊彦『競争戦略論』東洋経済新報社, 2003

金井壽宏『組織行動の考え方』東洋経済新報社, 2004

**【授業計画】**

週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
第1週	シラバス内容の説明		
第2週	企業とは	1	上 3～48
第3週	個人行動, 集団活動 (1)	1	上 49～74
第4週	個人行動, 集団活動 (2)	1	上 49～74
第5週	リーダーシップと管理者行動	1	上 75～97
第6週	組織構造	2	上 99～127
第7週	組織のデザイン	2	上 127～142
第8週	戦略論の基礎, 資源戦略論	3	上 143～171
第9週	競争戦略論	3	上 171～189
第10週	ドメイン戦略論	3	上 190～215
第11週	企業成長のための戦略と組織	3	下 11～35
第12週	国際化のための戦略と組織	3	下 37～62
第13週	社内ベンチャーの戦略と組織	3	下 63～96
第14週	研究開発の戦略と組織	3	下 97～136
第15週	まとめ		配布資料

**★定期試験**

定期試験返却・到達度確認

**【学生へのメッセージ】**

予備知識は必要ありません。経営学を楽しく学びましょう。なお、経営学の授業ではあまり触れることができない企業に関連するテーマに関して参考文献を挙げておきますので、個別のテーマに関心がある場合は、各自、読んでみてください。

オペレーションズ・マネジメントに関しては、藤本隆宏『生産マネジメント入門 I』日本経済新聞社, 2001  
財務分析に関しては、桜井久勝『財務諸表分析第4版』中央経済社, 2010